



# ながれ



## 防災への意識を高める

副校長 岡安 寛

このたびの北海道胆振東部地震と大阪を中心に台風で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

6年半前の3月11日、東日本大震災。6年生の担任をしていた私は、卒業を2週間後に控えた83名の子供たちと奉仕活動の真っ最中でした。体育倉庫の整理整頓、図書室の本と本棚の拭き掃除、学級園の整備、体育館2階の清掃、校舎内の壁磨き…。敷地内の至る所で子供たちが活動している状況で発生した地震でした。学級園にいた私は、その場にいた子供たちを集め、校舎から離れた所に座らせ、激しく揺れる中、体育館に走りました。体育館では、ほかの教員が子どもたちを避難誘導していましたが、その間も天井の水銀灯が激しく揺れて天井にぶつかり、その大きな音に恐怖心をあおられました。子供たちは、避難訓練においては「お・か・し・も」を意識できていましたが、実際の場面では「しゃべらない」を守るのが難しかったようです。校舎内外にいた子供たちを校庭の中央に集め、全員の無事を確認すると、後方から大きな水の音が。なんと、プールの水が考えられないように波打って溢れ、その波が通路を襲っていました。しばらくして、体育着姿の子供たちの体が冷えてしまうので、教職員が安全を確認しながら校舎内に入り、3階の教室にある衣服と防災頭巾を取りに行ったのですが、その間も何度も余震があり、大変恐ろしかったことを覚えています。その後、保護者の方に子供たちを引き渡し終えたのは午後9時過ぎでした。交通網が混乱しており、帰宅できない職員は学校に泊まりました。

震度5弱の地震でさえ、このような状況になるのですから、震度7の地震の揺れと恐怖は、言葉で表せるものではないでしょう。現在の在校生は、東日本大震災時には未就学でした。地震列島に住む私たちは、大地震に遭遇することを想定して暮らしていく必要があります。本校では、毎月1回の避難訓練を実施しており、1学期には保護者の皆様にも引き取り訓練に御協力いただきました。また、ブロック塀などの通学路上の危険箇所を区と共に確認・点検し、対応しているところです。御家庭におかれましては、登下校中に地震が発生した際に、家と学校のどちらに向かうのかを判断する地点を決めるなど、子供たちといざという時のために話をする機会を設けていただきたいと思います。学校では、夏季休業期間中に子供たちが持ち帰りました「防災ノート～災害と安全～」(東京都教育委員会のホームページで公開中)を用いるなどして、子供たちの意識を高めていきます。

9月7日には、4年生と社会科見学に行きました。見学場所の1つは、防災体験学習施設の「そなエリア東京」でした。この施設は、国の災害応急対策の拠点として整備された国営公園と都立公園である東京臨海広域防災公園内にあります。子供たちは、地震発生後72時間の生存力を付ける体験学習ツアー「東京直下72h TOUR」に参加しました。被災した町を再現したゾーンで、タブレット端末を使って防災クイズに挑戦し、AR体験で危険箇所を確認しました。見学を通して、子供たちは、「日本にいる限り、怖い地震と隣り合わせに生きなければならないので、備えが大切だと知った」などと感想をまとめていました。

10月18日(木)3校時には、阪神・淡路大震災の語り部である瀬尾征男氏をお招きし、身をもって学ばれた「人のいのちの尊さ」を語っていただく「いのちの授業」を予定しています。保護者・地域の皆様も、ぜひお越しください。

最後になりますが、先日の学校公開期間中には、代表委員会の子供たちから、地震や台風で被災された方々の役に立ちたいと声上がり、募金活動を行いました。人の役に立ちたいという子供たちの思いやりの心が嬉しかったです。なお、集まりました37,319円は、関係機関を通し、被災地に届くようにいたします。皆様の御協力に感謝申し上げます。



## 日光移動教室に行ってきました！

6年担任 永井 輝彦

9月3日から5日にかけての2泊3日、日光移動教室に行きました。台風の影響が心配されましたが、大きなけがや病気もなく無事に終わることができました。不思議と子供たちがバスから降りると雨が止んだり、晴れたりして、計画していた行程をすべて終わることができました。足尾銅山や日光東照宮などで歴史を感じ、戦場ヶ原ハイキングや日光自然博物館などで日光の自然を体感することができました。宿での自由時間は、男女関係なくみんなで集まって怖い話をしたり、オリジナル劇をしたりするなど、仲良く楽しく過ごしている姿がたくさん見られました。

学校に戻って振り返りをしたときに、子供たちから「陽明門の彫刻が細かくてすごかった。」「滝の迫りに圧倒された。」「友達と一緒に過ごすことができてすごく楽しかった。」「もう一度、みんなでいきたい。」という声がたくさん出されました。子供たち一人一人が思い出に残る移動教室となりました。日光移動教室を終えて、子供たちは様々な経験を積むことができました。学んだことを忘れず、卒業に向けてさらに充実した学校生活を送っていきます。

## 「まなびの教室」での活動

特別支援教室専門員 保坂 隆夫

「体育は得意だけど国語は苦手」「話すのは得意だけど書くのは苦手」「絵はうまく描けるが字はうまく書けない」など、子供たちは誰にも得意なところと苦手ところがあります。この得意・不得意に著しい差があって、その子に合った学びが必要な場合、「まなびの教室」で巡回指導教員による適切な指導が受けられます。授業は毎週水曜日に行われ、低、中、高学年別に学習しています。活動は基本的に、前半の1時間は個別指導形態をとり、専門の教員と一対一で、スピーチ、ソーシャル・スキル・トレーニング、聴き取りワーク、工作等、子供たちがそれぞれ自分に合った学びができるようプログラムが組まれています。後半の1時間はグループ活動となり、意思表示能力や意見の認め合いを高めるコミュニケーション活動と、基礎的な運動能力の向上と運動経験の拡大を図る運動活動をしています。これらの活動を通して「まなびの教室」は、子供たちが学校生活において健やかな成長を図っていくことを目指しています。特別支援教室専門員としては、こうした活動が円滑に行えるよう、戸三小の教員及び巡回指導教員と連絡調整を密にとっていきます。

## 10月の主な行事予定(予定は変更になることもあります)

1	月	【都民の日】休業日
2	火	安全指導 なわとび旬間始 放課後学習教室
3	水	B時程4時間授業(3年以外)13時10分下校 校内研究授業3年(5校時)14時25分下校
4	木	戸三小漢字検定①
5	金	全校遠足 14時50分下校(全)
6	土	
7	日	
8	月	【体育の日】
9	火	避難訓練 小中連携日 14時35分下校(全) 全学級公開授業13時45分～14時30分
10	水	B時程4時間授業(全)13時10分下校 伝統文化体験(和菓子)5年
11	木	神田川ファンクラブ4年
12	金	なわとび旬間終 全校遠足予備日 放課後ゼミ5・6年
13	土	
14	日	
15	月	歯磨き週間始 みどりの授業4年 委員会活動
16	火	秋の歯科検診 昔遊び体験5年 放課後学習教室
17	水	色覚検査4年 B時程4時間授業(全)13時10分下校
18	木	色覚検査4年 いのちの授業(全)
19	金	歯磨き週間終 生活科校外学習1・2年 放課後ゼミ4年
20	土	
21	日	
22	月	道徳週間始 対話式美術鑑賞教室4年 クラブ活動
23	火	地域清掃活動3・4校時 放課後学習教室
24	水	学芸会特別時間割始 B時程4時間授業(2年以外)13時10分下校 校内研究授業2年(5校時)14時25分下校
25	木	なかよしお弁当給食
26	金	道徳週間終
27	土	
28	日	
29	月	読書週間始 クラブ活動
30	火	放課後学習教室
31	水	B時程4時間授業(4年以外)13時10分下校 校内研究授業4年(5校時)14時25分下校

## 保健室より

養護教諭 飯岡 さや香

1学期に実施した学校保健委員会のテーマ募集アンケートへの御協力、ありがとうございました。集計の結果「子供たちの生活リズムの改善」についてお話を聞いてみたい、というお声が多かったため、今年度はこのテーマでの開催に向けて計画を進めています。

規則正しい生活習慣の基本は「調和のとれた食事」「適切な運動」「十分な休養・睡眠」の3つです。しかし、近年、子供たちの生活習慣の乱れが目立ってきており、文部科学省の白書の中でも、このような基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力・気力の低下の要因の1つとして指摘されています。

成長期の子供たちが、より健やかで豊かな心身を育み、学習意欲や体力の向上を図るためには、どのように環境を整えたらよいのでしょうか。その方法を専門家の先生に御享受いただきます。また、この問題を個々の御家庭だけのものではなく、社会全体で改善していくために、地域の皆様の御協力もいただき、一緒に考えていただきますと大変心強く思います。

開催は来年の1月17日(木)です。御多用のことと存じますが、皆様ぜひ御参加ください。

